

乳がん検診を受けられる方へ

乳がんは、日本人女性に最も多いがんの1つで年々増加しており、女性のがん死亡原因の上位に位置しています。

マンモグラフィによる乳がん検診を受診することで早期に乳がんが発見され乳がんによる死亡が減少することが明らかになっています。

乳がん検診は、2年に1回継続して受けることが大切です。ただし、しこりなどの自覚症状がある場合は、乳腺外科などの医療機関を受診してください。

また、定期的に乳房のセルフチェックを行うことも大切です。

なお、ペースメーカーを装着している方や豊胸手術後の方などは受診できません。

定期的に乳腺の疾患で受診中の方は、主治医とご相談ください。

【検診の不利益について】

乳がん検診には限界があり、100%乳がんを発見できるわけではありません。

がんがあっても「異常なし」と判定されることがあります。(偽陰性)

また、がんがなくても精密検査が必要と判定される場合もあります。(偽陽性)

検診には、このように不利益を生じることがあります。

【検診後の精密検査について】

乳がん検診の結果が要精密検査だった場合は、マンモグラフィの追加撮影や超音波検査、穿刺吸引細胞診(針を刺し、細胞を取って調べる検査)などの精密検査を必ず受けてください。

【個人情報の取り扱いについて】

豊中市が行うがん検診では、検診の精度管理のため、精密検査が必要になった方の検査結果や治療の受診状況などを市と検診実施機関と精密検査実施機関で共有します。

また、精密検査の受診状況について市からご連絡させていただくことがあります。

ご理解とご協力をお願いいたします。